



弱いときにこそ強い

2コリント 12:1-10
ホープチャペル所沢

ですから私は、キリストのゆえに、弱さ、侮辱、苦悩、迫害、困難を喜んでいきます。というのは、私が弱いときにこそ、私は強いからです。(2コリント 12:10、新改訳2017)

序

私たちの人生においては、誰もが自分の弱さを感じることがあります。これは避けられないことです。しかし、今日のメッセージでは「弱いときにこそ強い」というテーマでお話ししたいと思います。一見矛盾しているように感じるかもしれませんが、「弱いのにどうして強いのか」という疑問の答えを一緒に見ていきましょう。

1. どんな強い人にでも弱さがある (2コリント 12:7-8)
2. 神様の力が私たちの弱さのうちに豊かに働かれる (2コリント 12:9)
3. 弱さを通しての強さを知る (2コリント 12:10)

結論

私たちは、自分が弱いと気づかされた時にパウロと同じようにそれを認め、主の助けを求めましょう。その弱さのうちに働かれる神様の恵みと愛によって私たちは強くなります。だからこそ、私たちは弱いときにこそ神の力を最も必要とし、それを通して最も大きな祝福を受けるのです。パウロの言葉を思い出し、「わたしは弱いときにこそ、強いのです」と心に留めていきましょう！



今週のみことば：2コリント 12:9-10

20240428hctj